［A］平安京の政治(律令制の再編)

桓武(光仁天皇の子)

政治・政争

781 年　桓武天皇即位（行財政の簡素化や公民の負担軽減など政治再建につとめる）

天武天皇系の影響が強い平城京から離れたかった

784 年　長岡京（山背国）遷都（目的＝仏教政治の弊害を絶つ・水陸交通の便がよい）

785 年　藤原種継暗殺事件（造長岡宮使の藤原種継〔式家：宇合の孫〕が暗殺される）

早良親王（桓武天皇の弟）に容疑がかかり，皇太子を廃される

→怨霊として恐れられる(のち鎮魂祭として御霊会が行われる)

794 年　平安京（山城国）遷都（建議＝和気清麻呂）　★山背国を山城国と改称

［延暦の治（桓武天皇の親政）］

農民負担の軽減

①健児の制(792)（東北・九州など辺境の要地を除いた軍団制を廃止）

郡司の子弟を中心に健児に採用し，国府・兵庫・鈴蔵などの警備にあたる

軍団制(正丁 3〜4 人に 1 人)⇔健児制(郡司の子弟)

②雑徭（60 日間→30 日間に軽減）国司が駆り出す土木事業

③公出挙（5 割→3 割に利息を軽減）国司が貸し出す種籾の利息

租税負担の重荷から農民の浮浪・逃亡・偽籍が横行したため

律令制の再編

①班田制（班田収授を 6 年 1 班→12 年 1 班に改める）＝一紀一班

②勘解由使（国司交替時に事務引継ぎの不正を検査する）＝令外官の一つ

解由状（後任国司が前任国司に発行する事務引継ぎ完了の証明書）を検査

蝦夷征討

(780 年　伊治呰麻呂の乱〔光仁天皇時〕)

紀広純〔陸奥按察使〕を殺害し多賀城を焼き払う

→以後，東北地方では 30 年余り戦乱状態が続く

100 年前 →694 年　藤原京遷都(持統天皇)

710 年　平城京遷都(元明天皇)

10 年前 →784 年　長岡京遷都(桓武天皇)

794 年　平安京遷都(桓武天皇)

789 年　紀古佐美〔征東大使〕の蝦夷征討

797 年　坂上田村麻呂〔征夷大将軍〕の蝦夷征討

渡来系氏族（東漢氏の子孫）で清水寺を創建？

→阿弓流為〔蝦夷の族長〕らを降伏させる(801)

802 年　坂上田村麻呂が胆沢城を築城

鎮守府を多賀城から胆沢城に移転

803 年　坂上田村麻呂が志波城を築城

鎮守府は志波城には移っていない！

805 年　徳政相論（二大政策(軍事・造作)に関する論争）

→藤原緒嗣（中止派）VS 菅野真道（継続派）

軍事(蝦夷征討)と造作(平安京造営)の中止を主張した藤原緒嗣の意見を桓武天皇も支持して採用

平城

806 年　平城天皇即位（官司の削減・冗官の整理など官制改革，地方官対策を行う）

藤原薬子〔式家：種継の子〕を寵愛・藤原仲成〔薬子の兄〕を重用

嵯峨(桓武天皇の子)

810 年　平城太上天皇の変(薬子の変)（式家没落・北家台頭の契機となる）

藤原薬子・藤原仲成〔藤原式家〕が平城太上天皇(上皇)の重祚を企てるが失敗

809 年，病気のため嵯峨天皇に譲位した平城上皇は，寵愛した藤原薬子や仲成をはじめとする多数の官人らを伴い平城宮に移った。天皇は 810 年上皇と薬子らの行動を抑えるため，蔵人頭に藤原冬嗣と巨勢野足を任命。これにより対立し，平城上皇が平城旧京への遷都を命じると，嵯峨天皇は迅速に兵を出して勝利。上皇は出家，薬子は自殺。仲成は射殺された。

［弘仁の治（嵯峨天皇の親政）］

律令制の再編

①蔵人所（天皇の側近として，天皇の機密文書を扱う機関）天皇の秘書

→蔵人頭（蔵人所の長官）＝藤原冬嗣〔藤原北家〕・巨勢野足

役所＝蔵人所・役人の長官＝蔵人頭・役人＝蔵人

②検非違使（京都の治安維持・訴訟にあたる機関）裁判も行う総合警察

のち，衛門府の警察権・弾正台の糾弾権・京職の裁判権を吸収し，権限を拡大

法典の整備

①格式（→行政を担う貴族・官人はこれらの行政能力の習得が必要になる）

格（律令の条文を補足・修正した太政官符や詔勅）律令制定(701)

式（律・令・格の施行細則）詳しい内容　　後に出された法令

②三代格式の編集　ex. 養老 7 年の格＝三世一身の法(723)

『弘仁格式』（嵯峨天皇の命で藤原冬嗣らが編纂(820)）

『貞観格式』（清和天皇の命で藤原氏宗らが編纂）

『延喜格式』（醍醐天皇の命で藤原時平らが編纂→延喜式(927)は完備現存）

★『類聚三代格』（三代格を神祇・仏事など項目別に 11 世紀に分類・編集）

③法典注釈書（養老令の様々な条文の解釈・学説をまとめたもの）

『令義解』（清原夏野が 833 年に編集した養老令の官撰注釈書）

★『令義解』から養老令の大部分が復元できる

『令集解』（惟宗直本が 868 年頃に編集した養老令の私撰注釈書）

★『令集解』から養老令の大部分・大宝令の一部が復元できる

嵯峨天皇時ではない

淳和

811 年　文室綿麻呂〔征夷将軍〕の蝦夷征討

最後の蝦夷征討となる(嵯峨天皇時)

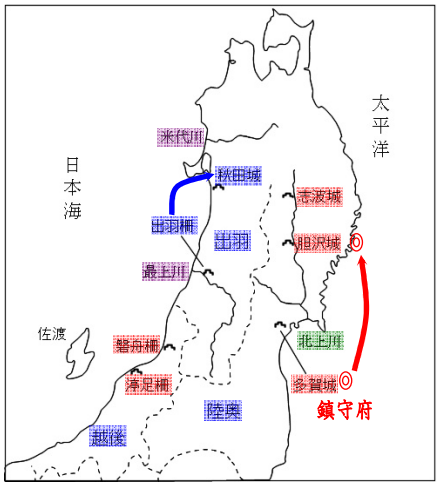
［蝦夷経営］

俘囚（律令国家に服属した蝦夷に対する呼称）

柵戸（東国から移住させた開拓と防衛にあたる人々）

(878 年　元慶の乱（出羽国の俘囚が秋田城を焼打ち）)

光仁(49)＝高野新笠（百済系渡来人の子孫）

桓武(50)　早良親王

平城(51)　嵯峨(52)　淳和(53)